

令和6年度地震・津波防災訓練 (新潟県佐渡市・内閣府)

実施報告書 (概要版)

新潟県佐渡市について

(さどし)

佐渡市は、新潟県の佐渡ヶ島全域を市域としている。平成16年に島内の10市町村が合併して誕生した。面積は約855.68平方キロメートルで、人口は48,463人（令和6年8月末時点の住民基本台帳人口）であり、主要産業は農業（特に米作り）、漁業（イカやブリが有名）、そして地酒の生産である。観光資源としては、トキ、金銀山、佐渡おけさなどがある。

佐渡市は、自然災害に対する防災活動に力を入れており、地域防災計画において、地震、津波、風水害などの自然災害に対する予防策や緊急対応策を含め、災害発生時の対応を明確にしている。

市内には多くの自主防災組織が結成されており、日常的な防災訓練や防災知識の普及活動を行っている。災害発生時には情報収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導、二次災害防止のための巡視など、幅広い活動を行う。

定期的に総合防災訓練を実施していることから市民や関係機関が災害時の対応を確認し、実践的な訓練を通じて防災意識を高めている。佐渡市の防災活動は、地域全体で協力し合い、災害に強いまちづくりを目指している。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和6年11月17日（日）午前9時00分、佐渡西方沖を震源とする強い地震が発生し、佐渡市沿岸に大津波警報が発表されたという想定のもと訓練を実施した。
- 実施日時：

【訓練実施前WS】	令和6年9月28日（土）	13:30～15:30
【地震・津波防災訓練】	令和6年11月17日（日）	9:00～9:30
【訓練実施後WS】	令和6年11月17日（日）	10:00～11:30
- 主催：佐渡市、内閣府
- 参加者数：347名
- 参加機関：国土交通省北陸地方整備局、陸上自衛隊第30普通科連隊、航空自衛隊佐渡分屯基地、自衛隊新潟地方協力本部佐渡駐在員事務所、新潟地方气象台、佐渡海上保安署、佐渡警察署、新潟県佐渡地域振興局、佐渡総合病院、新潟県建設業協会佐渡支部、佐渡市消防団等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練／津波避難訓練
- 訓練特色：訓練実施前WSで検討した避難経路で、実際に避難してイメージどおりの避難行動ができたか等の検証を実施した。

訓練の成果

【成果】

- 訓練実施前ワークショップにおいて、能登半島地震における佐渡市での状況（最大震度5強観測・津波警報・液状化など）を振り返り、地震時の安全確保行動や声掛け避難の重要性を共有した。また地域ごとに班分けし、津波が起こった際に、自宅や職場から向かう一時集合場所や避難ルートを考えてもらい、平常時から家族や地域で避難について話し合う重要性を学んだ。
- 地震・津波避難訓練において、訓練参加者は概ね想定どおり津波浸水エリア外に避難することができた。
- 訓練実施後ワークショップにおいて、訓練事前ワークショップで考えていた避難イメージや実際に訓練した時のイメージ差異、訓練から得られた学びを共有した。この訓練を踏まえて、今後相川地区として地区防災計画策定へ向けて取り組んでいくべきことを認識できた。

【課題】

- 民家から高台へは急勾配の階段があり、高齢者が多い住民には駆け上がることが困難である。
- 車道はすべて片道一車線であり、1人1台で高台に避難すると渋滞を起こすため災害時の防災計画で地区としてルール決めしておくことが重要である。
- 佐渡金山の世界遺産登録などで、観光客が増加しているため、まずは住民の防災上のまとまりを明確にし、そして住民以外の帰宅困難者を含めた防災計画としておく必要がある。

9月28日(土) 13:30~15:30 訓練実施前ワークショップ

- ・防災専門家（田村圭子新潟大学教授）から、「令和6年能登半島地震に学ぶ」と題し、地震の規模や被害状況、地震のメカニズム、緊急地震速報が鳴ったときの安全行動、避難についての事例紹介があった。
- ・地域ごとに、津波が起こった際に、自宅や職場から向かう一時集合場所や避難ルートについて話し合った。また各地域ごとに避難ルートの考え方や懸念点を共有し、新たな気づきを得る機会となった。

▼防災専門家講演



▼ハザードマップを使ったグループごとの意見交換



11月17日(日) 9:00~9:30 地震・津波防災訓練

- ・午前9時に地震が発生、津波警報が発表されたとの想定でシェイクアウト訓練と津波避難訓練を実施した。

▼津波避難訓練の様子（市営住宅前広場）



- ・津波避難訓練はハザードマップの浸水エリア外の高台にある施設等に避難することで完了とした。

▼津波避難訓練の様子（相川ふれあい集会所）



（次のステップとして県道31号線へ、最終的には指定避難所である相川中学校へ避難となるが、本訓練では、まずは浸水エリアから避難する所をゴールとした。）

▼津波避難訓練の様子（善知鳥神社）

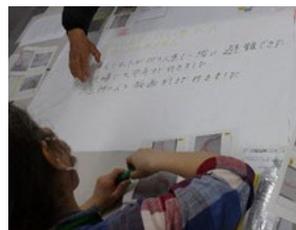


- ・津波避難訓練は概ね15分以内に完了した。

11月17日(日) 10:00~11:30 訓練実施後ワークショップ

- ・避難訓練をしたことから避難イメージや実際に訓練した時のイメージ差異、訓練から得られた学びを共有した。
- ・この訓練を踏まえて、特に今後増えるであろう観光客や帰宅困難者への対応も含め、今後、相川地区として地区防災計画策定へ向けて取り組んでいくべきことを認識できた。

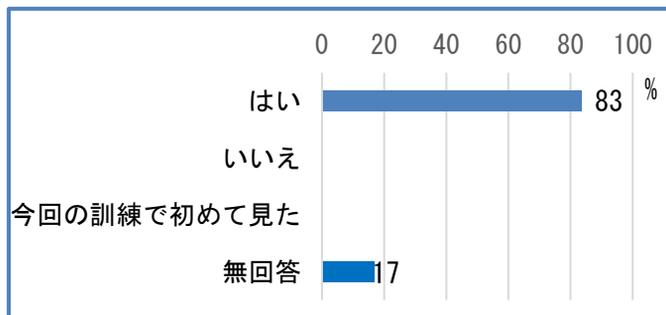
▼意見交換



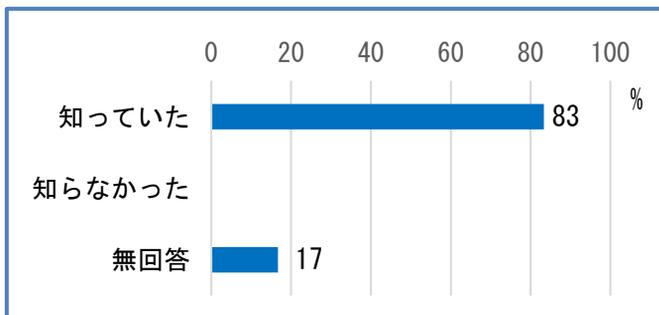
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

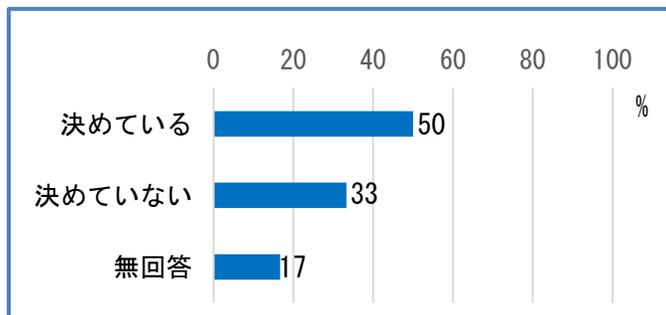
1. 市で作成している「津波ハザードマップ」を見たことがありますか。



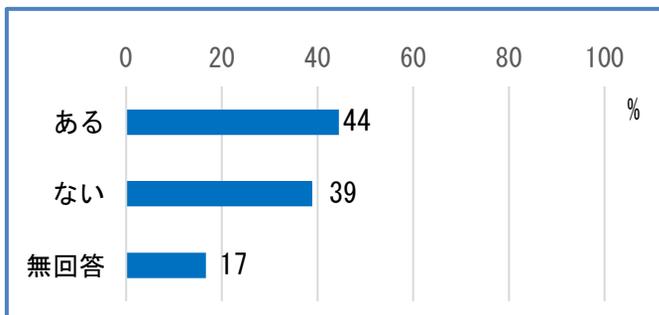
2. 津波に対する避難先や避難経路を知っていましたか？



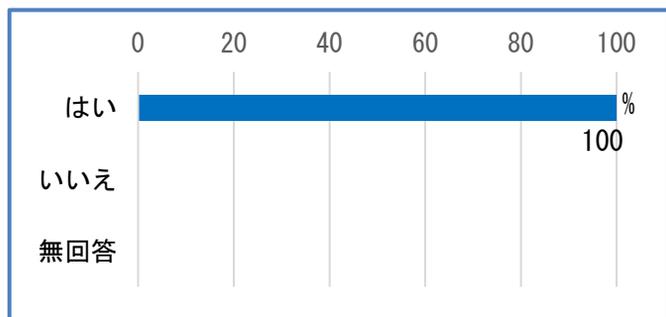
3. 災害時に家族同士でどのように連絡を取り合うかを家族の中で決めていきますか。



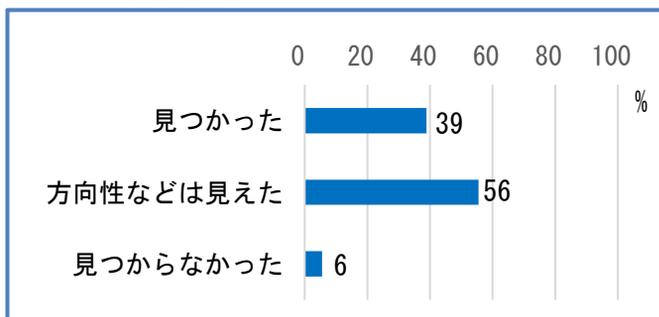
4. 自治会や隣近所で災害時の避難について話しあったことはありますか。



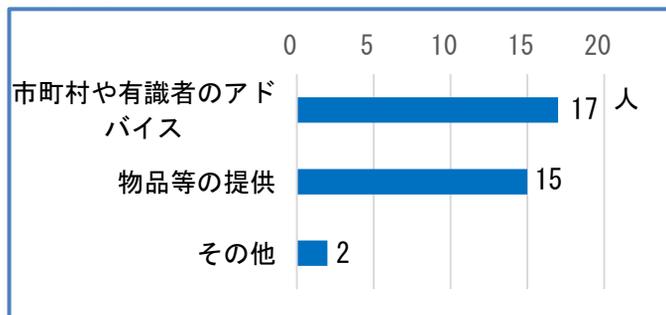
5. 今回のワークショップを通じて訓練などの必要性の意識は高まりましたか？



6. 今回のワークショップを通じて、津波からの避難時における問題点の解決策や方向性は見つけられましたか？



7. 今後、地域独自の防災訓練を実施する場合、市からどのような支援があると良いですか。（複数回答可）
（訓練前）



（訓練後）

